



『製造コスト削減、製造時間短縮による 生産性向上計画』

- ✓ 新設備を導入することで製造工程の大幅な時間短縮。更なる受注獲得が可能に
- ✓ 通常時には他部署への応援が可能となり他部署の負担軽減に
- ✓ 繁忙期にも休日出勤など、時間外勤務を軽減

株式会社はりまや



所在地	米子市鞆町	従業員数 (パート・アルバイト含む)	24名
業種	その他食料品製造業	支援機関	米子商工会議所

取組の背景

- (1) 商品の需要が高まる一方、設備更新の必要性が顕在化
 - ・地道な販売促進の成果にて取引先増加に加えて付加価値の高い安心・安全な製品の需要が高まったが、設備を更新していないために納品数量等、取引先のニーズに応えられていなかった。
- (2) 取引先からの受注に応じるためにマンパワーにてカバー
 - ・納品数量、納期等取引先からの受注に応えるため、既存設備の性能不足を従業員の時間外労働にてカバーしていた。また、電力、人件費等のコスト増加に拍車がかかっていた。



【生産工場（同社ホームページより）】

取組の内容・成果

- (1) 新設備導入（更新）による生産力の向上
 - ・こんにゃく製造工程（1 攪拌 → 2 養生 → 3 練り → 4 成形 → 5 煮作業 → 6 充填包装 → 7 検品 → 8 製品出荷）のうち「6 充填包装」において新設備を導入したことにより、この工程の処理能力が1.4倍となり、1製造ロット当たり約54分の時間短縮となり、取引先の求める納品数量等に対応できるようになった。
- (2) ゆとりとさらなる商機の創出
 - ・新設備導入により1製造ロット当たり約54分の時間短縮となり、短縮された時間で清掃作業及びその他の作業が可能となった。また、通常時の製造量は（1週間当たり）約1.2倍となり時間的余裕が生まれ、他部署への応援も可能となった。更に繁忙期の受注に対応する事が可能となった。



【充填包装の一例
（同社ホームページより）】

今後の展望

- ・改善計画を継続実行する事で競争力を強化し、販売価格の向上及び販売量の増加を図っていく。
- ・創出したゆとり時間で、弊社の強みである地元産原材料を使用した新商品を開発や、既存商品の改良等を行うことで、より付加価値の高い商品の提供を目指す。